議会ひえづ

令和8年
11月1日



9月定例会

- ▶村民インタビュー
  「海川祭り」実行委員のみなさん
- ▶村の一般会計 4,981万円増額
- ▶来てみてください！ 福祉センター

そっちだよ！

関連記事は18-19ページに

議会ひえづが
ご覧になれます

間交流、めたらなぁ

海川祭り実行委員のみなさん

出席者
高石　仁さん　内田 光俊さん
稲田 宏明さん　松田 賢志さん

昨年から開催されている海川祭りが今年も9月20日(日)に、たくさんの子ども達を集め、開催されました。中心となった4名の方にお話を伺いました。

結成のきっかけは

内田さん　きっかけは、運動会や球技大会の慰労会でした。他の自治会は祭りをしているのに海川はない、何かやりたいよねぇという会話になりました。

ひえづ113チャンネルで、昔の「西川での川くだり」を見て、今何もないので寂しいなぁと感じたのが始まりです。


内田 光俊さん

高石さん　海川だけは祭りをしてないなぁと、話をしているうちに、何か祭りをやろうとなりました。

海川祭りでは多くの実行委員さんの参加で、海鮮焼き、そうめん流し、ビンゴ大会などをやりました。


高石　仁さん

今後について、何か考えていますか

内田さん　海川祭りは秋に開催していますが、年に1回は少ないと思います。

祭りには、子育て世代の方は多く来られた一方、年配の方々があまり来られませんでした。

年配の方々にも来ていただけるよう、今回の祭りとは違った世代間交流ができる企画をしたいと感じました。

高石さん　他の自治会ではバーベキューとかですが、それ以外の内容で考えたいです。

稲田さん　冬の時期にも開催を考えたいと思います。たとえばもちつきとか、伝統の継承で何か新しいことがやりたいです。

また、年越しということでは「そば」とか「うどん」を作ってみたいです。


女性メンバーも祭りをささえます


▲海川祭りの様子

村民インタビュー

海川祭りで世代 冬場も一緒に楽し



松田 賢志（まつだ さとし）さん

日頃感じておられることは

松田さん　海川祭りの時、海川公民館前に車が停められないので、海川新田の方は車や自転車で行くしかありません。農業者トレセンに駐車して海川公民館まで歩きます。とても不便です。



稲田 宏明（いなた ひろあき）さん

村や議会に意見や要望はありませんか

稲田さん　ひえづ113チャンネルは一人でやっておられるのが心配です。後継者はおられるのか。子どもたちのためにも残してもらったら大人になった時、過去のことを知ることができます。

　海浜運動公園をドーム型にする工事は難しくて、都会の業者しかできません。地元業者でも施工できるようにしてもらいたいです。

内田さん　海川は二つの公民館があります。海川新田も住民が多いのに公民館は小さいですし、雨漏りもします。建て替えを検討してほしいです。

　現在、遊具で遊べる場所がありません。建て替えれば子どもも遊べるし、お年寄りも来れると思います。トイレが外にあるとうれしいです。今吉の公民館は広いし、日陰になる場所があります。熱中症対策もしてほしいと思います。

松田さん　議員が高齢化しておられます。どういう活動をしているのか伝わるようにしてほしいです。

　キャンプ場やうなばら荘への関わり方がどのようになっているのか、村民がわかるように伝えてほしいです。

高石さん　うなばら荘は、どういう形でもいいから復活させて有効利用してほしいです。

　海浜運動公園でサッカーができるというけれど、フェンスが低いのでボールが外に飛んでいきます。雨天でも使用可能にしてほしいです。また、村民が使用する場合、料金を村民割引にしてほしいです。



議会だよりや議会中継はご覧いただいていますか

松田さん　議会中継は放映時間が限られており、見たい時に見れません。DVDに録画して貸し出すのはどうですか。

皆さん　議会だよりは読んでいます。

今年の年末は素敵な世代間交流ができますように！
皆さんから貴重なご意見をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

4,981万円を増額
２名を募集へ

９月定例会

令和８年第３回定例会を、９月１日から18日まで開催しました。議案は、令和８年度補正予算５件、条例の一部改正１件、令和７年度決算認定４件、人事案件（同意）１件、陳情１件の全12件を可決・同意・認定・採択しました。また、㈱ひえづ村づくり公社について、初年度・第１期の決算報告が行われました。

議案第30号・34号
一般会計補正予算（第２回及び３回）

主な事業（支出）

●地域おこし協力隊募集　２０５万円

大都市圏から地方へ移住し３年間地域の活性化に取り組む国の制度を利用して、来年度から「地域おこし協力隊」を２名採用するための募集を行う。

Q　協力隊は、具体的にはどのような業務に取り組むのか。

A　イチジク栽培を中心とした「高付加価値農業」振興への従事者と、「地域商社機能強化」を目指して「むらづくり公社」に派遣するスタッフを募集する。民間求人サイトへの広告掲載や、地域おこし関連イベントへの出展などを予定している。



▲県下各地の協力隊の方々

●特殊詐欺から県民を守る緊急対策　30万円

防犯機能付き電話機の購入・設置の経費を補助（１世帯当たり１万５千円を上限に20件の補助）。



●小学校給水管修繕　３１３万円

小学校給水管の水漏れ調査の結果、至急修繕の必要があるため。

議案第31号
特別会計の補正予算

国民健康保険事業特別会計
１３６万円増

議案第32号
後期高齢者医療特別会計

支出項目の変更　19万円

議案第33号
下水道事業会計

収益的支出２４２万円増
資本的支出１７６万円増

その他の議案・同意案件

議案第29号
日吉津村印鑑条例の一部改正

漢字圏の外国人住民の印鑑登録の際、カタカナ表示などの制限を緩和するための条例の一部改正。

人事案件・同意第12号
村教育委員の任命

新任　白岩美穂さん
任期　令和12年９月30日まで

村一般会計の予算

地域おこし協力隊

報告第９号

「ひえづ村づくり公社」の決算

村の出資により、令和７年５月に設立された「村づくり公社」の第１期（令和８年４月まで）の決算の報告がされました。

収入

新鮮市場内の「ひえづマルシェ」におけるソフトクリームや地元物品の売り上げ、４月からの海浜運動公園の使用料など９１５万円、村からの「地方創生マネージメント事業」への委託料１９４１万円などが多くを占めている。

支出

マルシェのスタッフ（１か月半）の給料や、設立当初役員として勤務し、３月に退職したマネージャーへの報酬、マルシェへの指導料など一般管理費１６７８万円が主なもの。

収支の結果

約６５９万円の黒字決算となった。

Q **地方創生支援マネージャーへの役員報酬５００万円は妥当か、また、すでに辞められているので、以降は発生しないものか。**

A それ以前の報酬額に準じ、10か月の期間をあん分している。報酬額の妥当性については、年度当初の株主総会にて決定したもの。今後は発生しない報酬である。

Q **村づくり公社は、多岐にわたる事業に取り組んでいる。今後の健全経営のため中小企業診断士など専門家の指導を受けながら取り組むべきだ。**

A 設立当初から、商工会を通じアドバイザー派遣を受けている。

Q **公社に対する村民の関心は高い。村からの委託事業も多岐にわたっている。経営状況が具体的に分かるよう、村として情報提供を尽くすべきだ。**

A 委託業務の内容については、これまでも適宜説明してきたが、今後も引き続き情報提供する。

陳情の扱い

９月定例議会には、１件の陳情があり、常任委員会へ審査を付託しました。本会議にて、その審査結果の報告を受けて、全議員の賛否を問うたものです。（本会議での最終結果は下記のとおり）

□教育民生常任委員会への付託案件

陳情第４号　ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2027年度政府予算に係る意見書採択についての陳情

【陳情者】鳥取県教職員組合西部支部　支部長　西田　周郎
鳥取県高等学校教職員組合西部支部　支部長　先灘　文広

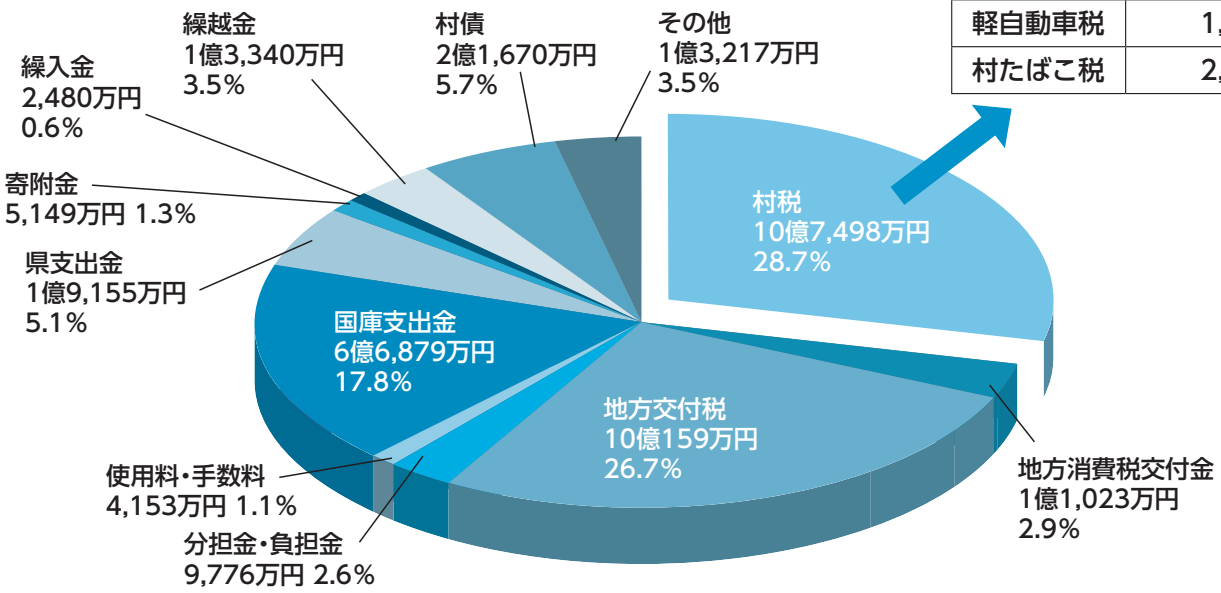
委員長報告　採択（全会一致）　**討論なし**　→　**本会議結果**　採択（全会一致）

令和７年度 会計決算審査レポート

４会計 可決・認定

一般会計

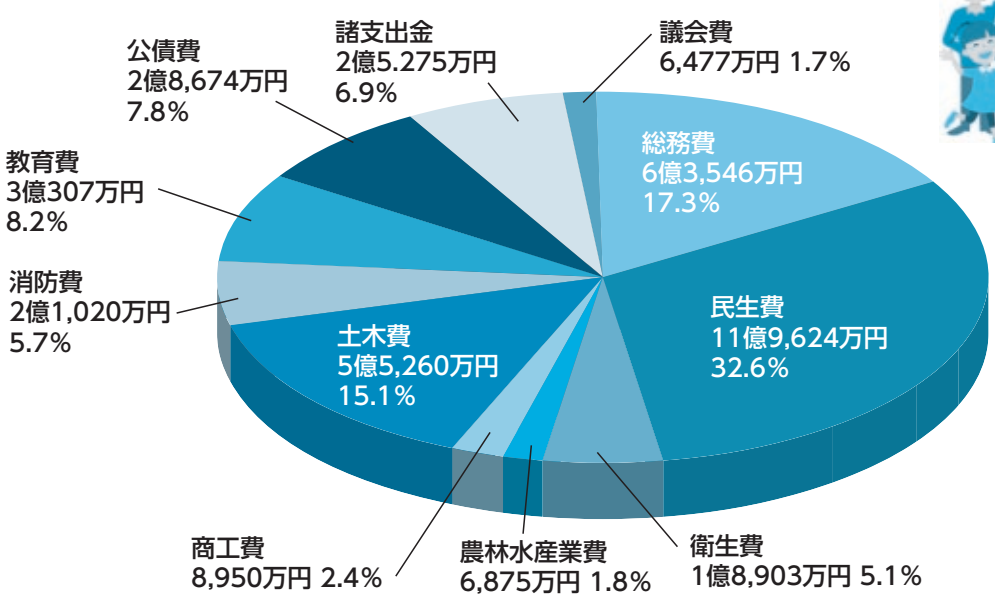
【歳入合計額　37億4,499万円】



村税の内訳	
村民税	３億7,463万円
固定資産税	６億5,741万円
軽自動車税	1,637万円
村たばこ税	2,773万円

【歳出合計額　36億5,999万円】





【歳入歳出差引額　8,500万円】
（次年度へ繰り越し）

特別会計

特別会計	歳 入	歳 出
国民健康保険事業会計	３億6,535万円	３億6,510万円
後期高齢者医療会計	7,598万円	7,578万円

下水道事業会計	収 入	支 出
収益的収支	１億5,571万円	１億5,449万円
資本的収支	570万円	4,770万円

９月定例会に提出された決算に係る４議案を決算審査特別委員会に付託し、審査を行いました。
９月８・９日と15日の３日間にわたり行政が予算を適切に執行したかを審査しました。

- 一般会計……全会一致　**認定**
- 国民健康保険事業会計……全会一致　**認定**
- 後期高齢者医療会計……賛成多数　**認定**
- 下水道事業会計……全会一致　**認定**

実施された主な事業

日吉津村アンテナ店舗整備事業



4,357万円

村補助金を「村づくり公社」に支出し、新鮮市場内に店舗整備を行っています。

物価高騰対策元気回復券



2,132万円

物価高騰に伴う対策として、商品券を発行して給付しました。

デイサービスセンター管理事業



3,520万円

指定管理になった施設の浴室やトイレ等の改修を行い、環境向上が図られました。

決算審査特別委員会の附帯意見

【総務課】
- 総合計画や実施計画の内容改善と、村民理解・参画の徹底を図られたい。
- コミュニティ支援スタッフの見直しと、研修や情報交換の場を設けられたい。
- ふるさと納税の使途について、村民参画の場を保障されたい。

【住民課】
- 消費生活の相談窓口が設けられていることを周知されたい。

【福祉保健課】
- 高齢者福祉計画の見直しに伴い在宅介護を検討されたい。
- 高齢者の外出のための交通手段を検討されたい。

【建設産業課】
- 老朽化した下水道の長寿命化を早急に計画されたい。

【教育委員会】
- ヴィレステひえづ１階「健康相談室」の村民利用を早急に図られたい。



海浜運動公園魅力化向上事業



4億3,255万円

海浜運動公園の第１期工事としてキャンプ場やスポーツ広場の再整備を行いました。

人材育成交流事業



699万円

昨年度オーストラリア研修は、シドニーからケアンズに変更し経費削減しています。沖縄研修も含め今後の人材育成に期待したいです。

ふるさと読本制作事業



223万円

ふるさと読本が完成しました。前年から継続して制作されたもので、今後の利用につとめてほしいです。

討　論

後期高齢者医療会計 歳入・歳出決算の認定について

反対討論　**江田加代 議員**

後期高齢者医療制度に、出産一時金にかかる費用の一部を支援する仕組みが導入された。これは低年金で暮らす高齢者にとって大きな負担である。医療を必要とする世代になって「子育て支援」の名目で保険料に上乗せして徴収するようになっている。子育ては社会福祉の問題であり、保険料が目的外に流用されることを指摘し反対する。

常任委員会による閉会中の調査報告

総務経済常任委員会

●目　　的　村有林（地）の活用状況について
●期　　日　令和８年７月30日（木）
●場　　所　現地及び議会委員会室

●調査の概要

大山町の赤松地区にあり農業用パイロット事業を進めている村有地と、米子市岡成地区にあるクヌギ等が生い茂る村有林の現状を視察した。

●考察

村有地は先人より築き上げてきた貴重な財産であり、その村有地を有効活用することは重要である。村は未利用村有地の活用策、村有地林・村有地の管理の見直しなどを考える時期になっているのではないか。

村として村有地の適正な管理、有効活用方法を検討してもらいたい。



▲利用されていない村有地

教育民生常任委員会

●目　　的　高齢者の福祉施策
●期　　日　令和８年７月28日（火）
●場　　所　議会委員会室

●調査の概要

村の高齢者福祉の指針には「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる村」とある。果たして、そのような取り組みが行われているのか現状を聞いた。

●考察

「……目指します」「……進めます」と多くの言葉を並べる前に、どこまで本気で寄り添えるかだと思う。

例えば在宅介護の家族に介護手当を支給する、高齢者が村内を自由に行き来できる交通手段の確保など。

社会福祉協議会とタッグを組んで、村独自の取り組みを全国に発信するくらいの高齢者福祉に取り組んでいただきたい。



▲姿勢すっきり教室

視察報告　行財政調査特別委員会　　**（7月1日～3日・愛知県）**

愛知県新城市「若者議会」などを調査

「開かれた議会」を目指し、改革の手法を学ぶべく、愛知県の新城市「若者議会」と田原市立図書館「図書館による行政・議会への支援」について視察しました。

愛知県新城市　若者議会の取り組み





「若者が活躍するまち」を掲げ、自治基本条例に続き、新城市若者条例・新城市若者議会条例を制定、平成27年より「若者議会」をスタート。現在12期実施中。若者自らが、まちの将来を考え政策を立案し、１千万円を限度に予算提案権を持つ市長の諮問機関です。

- **参加資格：**在住・在学・在勤のおおむね16～29歳20名、市外委員（定員５人）、メンター市民（経験者）、メンター職員（若手職員から募集）。
- **提案事業の実績：**ふるさと情報館リノベーション／若者アウトドア観光事業／新城市若者チャレンジ補助金／つながる地域と若者の輪／おかえり若者同窓会応援制度など。

考察

- **この経験者から、若手市議２人、市職員６人が誕生しているという。高校生となれば、すでにまちづくりの主権者、活躍の場を提供したい。**
- **自治基本条例を持つ本村においても、あらためて住民の参画や行政との協働につながる手法として検討したい。**

愛知県田原市　図書館による行政・議会支援（令和７年度実績 199件）



①レファレンス（調査相談・援助）のテーマ例：周辺市町村の休日保育、貧困対策、家庭ごみの減量・有料化、都市計画線引き見直し、介護福祉への助成など。

②議会や行政のPR：「写真で見る市議会」展示／市へのパブリック・コメント関連資料展示（市民は、ゆっくり考え、コメントを入れる貴重なコーナーになっている）。

③「議員とたはらトークin図書館」：図書館内で議員と市民が車座になって対話／女性や若い世代の意見を聞く貴重な機会に。中高生対象の会も。

④数々の市民グループと図書館の協働：図書館フレンズ田原、NPOたはら広場、リサイクルブックオフィス、図書館サポーターズ・おおきなかぶ、「元気はいたつ便」など多数。

考察

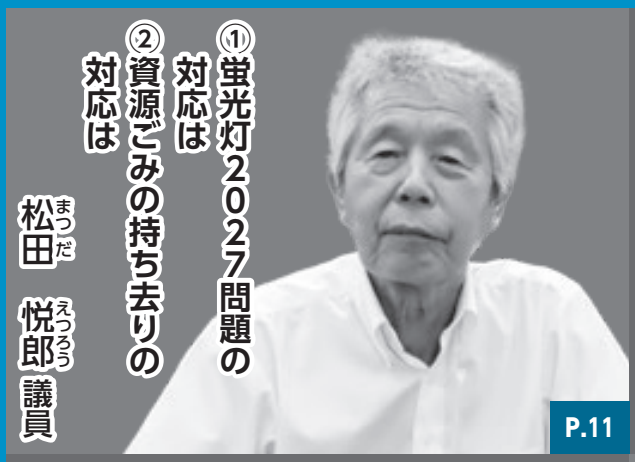
- **図書館は住民活動の拠点であり、その機能は拡大しつつある。議会や行政も施策推進のために、その機能を活用したい。**
- **議会活動への関心を広げたい本村としても、図書館を活用することで、多様な世代の意見を集める機会が作れるのではないか。**

一般質問 村政を問う

私はここに注目

今年の６月議会から、一般質問は、YouTubeで視聴できるようになりました。村のホームページからもアクセスできます。

▲こちらから視聴できます



①蛍光灯２０２７問題の対応は
②資源ごみの持ち去りの対応は
松田（まつだ） 悦郎（えつろう） 議員

P.11



①海浜運動公園再整備の進ちょくは
②農業振興対策を早急に
斉田（さいた） 光門（てるゆき） 議員

P.12



①若者支援とむらづくりへの参画
②村独自の介護サービスの検討は
前田（まえた） 昇（のぼる） 議員

P.13



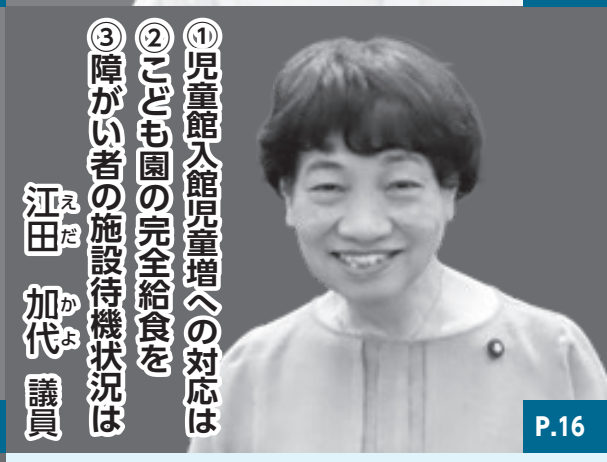
①スマホ等の適正使用の啓発を
②今後の児童館について
石原（いしはら） 浩明（ひろあき） 議員

P.14



①海浜運動公園再整備とその成果
河中（かわなか） 博子（ひろこ） 議員

P.15



①児童館入館児童増への対応は
②こども園の完全給食を
③障がい者の施設待機状況は
江田（えだ） 加代（かよ） 議員

P.16



①うなばら荘はいつオープンするのか
②海浜運動公園遅延の要因は
橋井（はしい） 満義（みつよし） 議員

P.17

９月定例会では、９月２日に一般質問が行われ、７人の議員が登壇しました。

※一般質問とは

村の行政全般にわたって、疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。



松田悦郎 議員

蛍光灯2027問題の対応は

村長　県の支援制度の活用を

Q 国際条約で水銀使用の蛍光灯規制が決定された。日本も令和8年から種類ごとに段階的に禁止されることとなった。今後、入手困難になったり価格が上がることが予想される。この対応は。

A 村長　蛍光灯は水銀に関する水俣条約で、環境汚染及び健康被害を防止する国際的な取り組みである。

我が国も令和8年から段階的に規制が開始される。

蛍光灯からLED照明への買い替えに伴う経済的負担については、県において、国からの交付金を活用し、今年の12月まで応援事業を行っている。

LED照明器具を登録販売店で取り替えれば、一世帯1回限り最大1万円の値引き支援が行われる。

村では、県から提供されているチラシの配布及び掲示等で制度の周知を図っていく。

今後も国・県の動向や蛍光ランプ買い替えの状況にも注視し、取り組みを検討したい。



▲家庭内の蛍光灯

資源ごみ持ち去りの対応は

村長　取り組みを検討する

Q 全国では資源ごみ集積場から許可なくごみを持ち去る行為が大きな問題となっている。この行為は組織的で大規模に行われ、経済的な損失も大きい。

今から対策を検討し、適正に対応するよう考えていくべきでは。

A 村長　平成13年に施行された循環型社会形成推進基本法においては、循環資源の適正な利用や処分を確保することが地方公共団体の責務である。

資源ごみの持ち去りは、本来の収集・資源化のルートから適正な利用を妨げる不適切な行為である。

村では持ち去りについて正式な苦情や被害を把握していないが、一方で資源ごみが持ち去られた形跡があるという情報もある。

今後は、資源ごみの持ち去りを未然に防止するとともに、現在発生している可能性のある持ち去りの対策として、まずは実態把握に努める。

あわせて、近隣自治体の取り組み状況も参考にしながら、今後の取り組みを検討したい。



▲資源ごみ集積場



斉田光門 議員

海浜運動公園再整備の進ちょくは

村長 軟弱地盤のため、工期延期をする

Q 日野川右岸道路事業の発注工事内容を。

A 村長 今年度は村道富吉南線付近から桜堤の北側付近まで約３２１ｍ区間で、工事内容は道路土工、路体盛土などである。

Q 第２期海浜運動公園の再整備について説明を。



▲施工開始の第２期海浜運動公園再整備

①子育て交流拠点施設の完成図、説明会開催は。

②村民の意見内容は反映させるのか。

③建築資機材の高騰が懸念されるが、契約価格内で完成できるか。

A 村長 ①村民の意見内容を事業者に伝え、遊具の配置を踏まえ完成図の作成を進める。

業者の地質調査で地盤が軟弱なため、工法を再検討し工期延期をする。図面完成後、住民説明会を開催し、工期延期の理由など今後のスケジュールを説明する。

②これまでの説明会、アンケート、ワークショップでの意見について、可能な限り反映させる。

③物価変動に応じた改定は見込まないと、契約上明記されており契約価格内で完成となる。

農業振興対策を早急に

村長 国、県と村の補助制度を活用

Q ①中山間地域では草刈り作業に国の補助がある。村独自で直接補助は可能か。

②行政として農地・農道・水路補修等の助成制度を。

③イチジク栽培の現状と今後は。

A 村長 ①補助制度は法律に基づき中山間地域直接支払制度と同様、対象となる団体（村では日吉津村地域資源保全会）に「多面的機能支払交付金」の制度がある。

保全会への交付はのり面の草刈り、水路補修、水路の老朽化箇所の補修など３点が対象で、交付金額は令和６年度約３９０万円、令和７年度４２０万円で、今年度は約４９６万円と増加傾向。

②個人の水路補修は箕蚊屋土地改良区が資材を提供し、個人が作業をする。個人対応ができない水路・農地・農道は県の制度を利用し、交付金額は昨年度４６７万円、県と村が２分の１ずつ負担する。

けい畔撤去による大規模化を進めている。昨年度は約３haを対象に国の交付金を利用し約１６０万円を支出、今年度は約２haの実施予定。

③村内の主なイチジク生産者は４名、合計３０００㎡で生産する。イチジク生産振興協議会を設置し、村内の生産者でハウスの見学を４回開催した。視察研修も予定する。

引き続き、意見交換会にて栽培方法や村の支援策も検討し、生産者の増加に努める。



▲担い手農家も受け入れ限界！
どうなる日吉津の農業



前田　昇 議員

若者支援とむらづくりへの参画

村長　他の例を参考に、若者の参画をすすめたい

Q 若者がいかに地域で活躍するか、行政や地域は、若者のアイデアをどう活かすかが重要だ。愛知県新城市では「若者議会」を設けて、市への予算提案権を認めている。また、日本青年館からの「若者支援の政策提言」を参考に、具体的な取り組みを検討してはと考える。



▲若者の参画・新城市の取り組み

A 村長　中高生が、卒業後も日吉津に住みたい、帰って来たいと思えるよう努めていきたい。

新城市の取り組みは、若者の意見を施策に活かし、地域人材を育てるための有効な方法の一つだ。青年館からの「政策提言」も含め、よく受け止めて検討していきたい。

Q 新城市では、市内の高校生以上の若者委員に加え、若手職員や市外の若者にも参加枠を設けている。まちづくりや人材育成として、意味のある手法だと思うが、いかがか。

A 村長　村の将来を担うのは若者である。若手職員らが、村民の意見を聞きながら村の施策を進める経験にもつながる良い機会と感じる。

Q 中高生サークルの活動は頼もしい限りだが、さらに地域での自主的な活動を期待して「部室」のようなたまり場が必要では。

A 教育長　主体的に取り組む次のステージに向けて参考になる指摘、施設の活用についても検討したい。

村独自の介護サービスの検討は

村長　国の制度も考慮し検討する

Q 「要介護になっても自宅で、ただし家族に大きな負担がかかるなら施設へ」と思う人が多い。国の見直しにより訪問介護の報酬が下げられ、多くの民間事業所が閉鎖に追い込まれた。コンパクトな本村なら、独自の在宅支援を検討できるのでは。

A 村長　本村周辺は利用可能な事業所もあり、居宅サービスについて、村民の利用は可能な状況だ。専門人材の確保など実施に向けた課題は多く、村社会福祉協議会も撤退を余儀なくされた。広域連合では、来年度から3年間の「第10期計画」の策定準備中であるが、国の新しい制度も踏まえ、住み慣れた地域で暮らせるよう検討していきたい。

Q 民間のノウハウを活かすとして、昨年からデイサービスを指定管理にしている。「高齢者福祉計画」の見直しにあたり、村独自の高齢者に対する支援を連携して検討しては。

A 福祉保健課長　デイサービスとも連携し、可能な施策を、検討していきたい。



▲村独自の在宅支援の検討を



石原浩明 議員

スマホ等の適正使用の啓発を

教育長　各家庭と連携を図りたい

Q 文科省による全国学力・学習状況調査の結果分析が公表された。それによるとSNSや動画視聴に割く時間が増加している。スマホ等の適正利用の情報提供は。

A 教育長

1日に1時間以上、SNSや動画視聴をする日吉津小学校の児童の割合は、全国平均を10ポイント以上、県平均を14ポイント以上下回る結果だった。

しかし、4時間以上利用する児童も見られたので、家庭でのメディア利用のルールの見直しや、毎日机に向かう学習習慣づくりなど、協力を得たいと考えている。

村で独自のスマホ利用等の調査は実施していないが、箕蚊屋中学校で取り組む「3快チャレンジ」（快眠、快食、快学）に、日吉津小学校でも取り組んでいきたい。この活動により、スマホ等の利用状況の把握もできる。課題や要因を分析しながら、適正利用の啓発に努めていく。

子どもとメディアの関わり方について、就学時健診に情報提供を行っている。また講演会や県教委の作成した資料等を使い、SNSとの付き合い方の啓発を行っている。

こども園においては、成長過程に合わせ、電子メディアとの付き合い方について情報提供を行っている。

また乳幼児健診においても、ガイドブックを配布したり、保健師等が内容の説明を行ったりしている。



▲スマホ利用にはルールを！

今後の児童館について

村長　基本的に分館体制を継続していく

Q 現在の児童館の体制は。

A 村長

児童の登録者数は171人、通常の利用は約140人（昨年の登録者140人）職員は昨年より2名増で、16名。夏休み中には中・高生と大学生のボランティア希望があり受け入れた。小学校の教員にも、入ってもらったことがある。

Q カルチャー土曜塾を平日にも行ってはどうか。

A 教育長

かつては、平日にも開催したことがあったが、児童館に行く子や、スポーツ少年団に行く子が大半で、取りやめた経緯がある。

今年度は、次の学習指導要領で重視される、子どもたちの「好きや意欲を育てる」体験活動やキャリア教育に重点を置いた活動も取り入れて、夏休み中の平日を中心に「ぼうけんクラブ」として取り組んでいる。

平日の開催については、子どもたちのニーズも把握しながら、必要に応じて、実施を検討していきたい。



▲「ぼうけんクラブ」久連（くれ）ダムの見学



河中博子 議員

海浜運動公園再整備とその成果

村長　経済的な波及効果がある

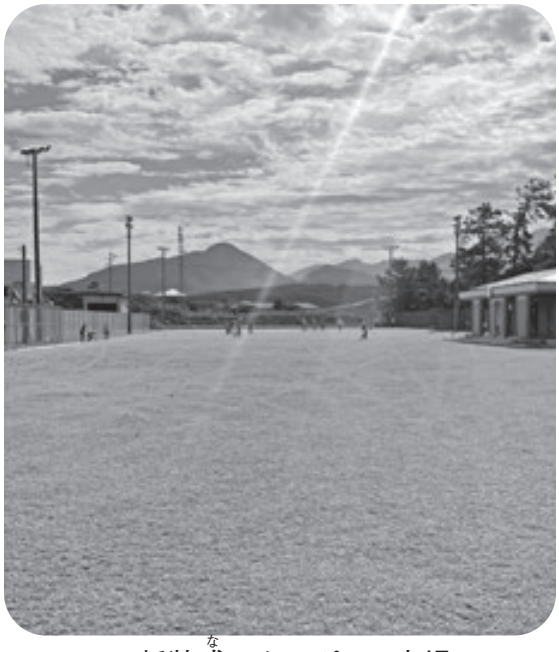
Q 海浜運動公園再整備によって、村や村民が享受する利益・成果の目標と、またそのように、計画通り進んでいるか。

A 村長

4月から8月のキャンプサイトやバンガローなどの利用実績は550万円の収入で、整備前の同じ時期と比べ約2倍に増加している。

オートキャンプ場は6区画整備したが、12区画あるキャンプサイトより多くの収益につながっている。

3棟のトレーラーハウス（グランピング）は、オープン当初は周知不足のため使用者が無い時期もあったが、夏休みシーズンでは3棟全てが埋まる日もあり、利用者数は少ないがバンガローに並ぶ収入を得ている。



▲新装成ったスポーツ広場

Q 10億円という資金を投入しての整備事業である。国から半分は補助金が出るというものの、残りの半分に利息が付けば、相当な借金になるはずだ。

大掛かりな開発によってもたらされるメリット、デメリットはなにか。

A 村長

テニスコートとゲートボール場を整備したスポーツ広場は、村内外からグラウンドゴルフ等の利用があり、多くの人たちが海浜運動公園を訪れるきっかけとして、機能している。

またその人たちが村内で買い物をするなど、村の活力や経済的な波及効果もあると考えている。

課題は冬季の集客をどうするかだ。鳥取大学との連携の中で、キャンプ場の閑散期対策についてアイデアをいただきながら、オフシーズンであっても人が訪れる海浜運動公園にしていきたい。

財政面については、村の財政状況をみながら、計画的な起債、事業執行に努める。



▲3棟のグランピング施設

Q グランピングの料金は最初2万2千円と聞いたが、ネット上では1万円～1万5千円、シーズンに応じて変動するとなっている。どういうことか。

A 総務課長

利用料については宿泊施設という面もあるので、利用頻度の高い季節と閑散期では若干差をつけながら、指定管理者の考えを村の方で了解し、運用していく。



江田加代 議員

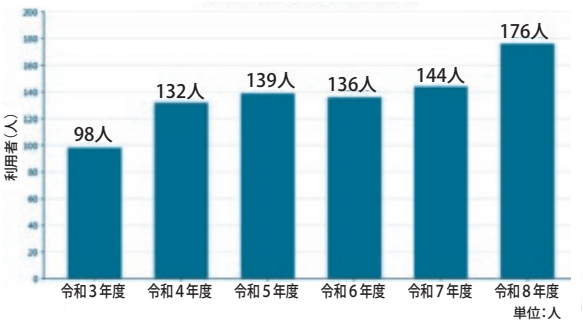
児童館入館児童増への対応は

村長 児童館での居場所づくりを検討したい

Q 児童館を希望する児童が増えており、遊びや体験活動のスペースを確保しにくいと現状説明があった。今後の対応は。

A 村長

本年度の登録児童数は170名を超え、職員を2名増やした。将来的に子どもの居場所をどのように確保していくのか検討していきたい。



▲日吉津児童館 利用者数の推移

村では6年生まで受け入れており、これをしっかり守っていきたい。それが保護者の安心につながっていくと考えている。子どもたちには色々な体験や良い環境を提供しながら、当面は現在の児童館と村内施設を活用した分館体制をとり、今後どのような環境が良いか検討し、国などの動きも見ながら児童館での居場所づくりを検討したい。

Q 村の児童館を利用することが難しい児童で、村外の放課後等デイサービスを利用している方への支援について伺う。一ヶ月の利用料が3万円にもなる月もある。村の学童保育並みの負担になるよう支援はできないか。

A 福祉保健課長

現在、放課後等デイサービスを利用されている方はある。障がいのある方については、なんらかの助成制度があり、利用されている事業所には対応してきている。個々に上乗せを、ということになるのか状況を確認して、対応したい。

こども園の完全給食を 村長 10月実施の準備を進める

Q こども園の給食は保育の一環であり、食育に重要な役割を担っている。米飯を提供する完全給食になぜできないか。

A 村長

村ではこれまで完全給食の実施に向けて検討してきた。

こども園において炊飯設備は整備済み、料理を並べるスペースも工夫して、月1回のなかよし会食では米飯の提供はできているので設備の課題はクリアしている。

本年度当初から実施する計画だったが、人員が揃わず実施に至らなかった。

体制のめどがついたので、10月から完全給食を実施できるよう準備を進める。



▲ごいっしょにいただきまーす。

障がい者の施設待機状況は 村長 現時点で入所施設への待機者はない

Q 共同通信社の全国調査で、鳥取県内で入所施設やグループホームの利用を希望しているのに待機している障がい者が873人との新聞報道があった。日吉津村の状況はどうか。

A 村長

現在村内に待機者はないが、受け皿の確保については、西部圏域の関係団体と情報共有をしながらニーズの早期把握に努め、ご家族の高齢化、親亡き後の課題を見据えながら対応していく。



橋井満義 議員

うなばら荘はいつオープンするのか

村長 事業者の実行に期待している

Q 旧うなばら荘は、7月にはオープンするとされていた。しかし、その状況にないがどう対処されているか、問う。

①食物残さを使ったバイオマス発電設備を設けるとしている。その事業原資を補助金利用で計画されている。村として、補助制度の要件で必要とされているか。

②レストランを先行オープンされるようだが、上水が必要と考えるとその熱源はどうされるのか。

③浴室を見たところ、混合栓が全て取り除かれていた。これで温泉利用をどうされるか。

A 村長

①住民説明会で事業者が説明した通り、国の補助制度を利用する考えである。村としても関わって協議を進めてきたが、補助要件を満たすところまで至っておらず、現状では補助制度の活用まで進んでいない。

②レストラン営業についてのボイラーは、別途に設けて整備されると聞いている。

③混合栓がない状況は分かったが、そこからの認識がなかった。



▲看板がリニューアルされたうなばら荘

海浜運動公園遅延の要因は

村長 予想外の軟弱地盤があった

Q 当事業は6月定例会初日に提案され、即日議決された件である。緊急性を要すると説明されたが、3ヵ月を経過するも着工されない。次の点を問う。

①当該事業の契約書を提示の上、進ちょく状況を説明されたい。

②地盤調査で、予想外の軟弱地盤があった。液状化の恐れありということが、遅延の要因説明だったが、その詳細は。

③事業の遅延で工期や予算に及ぼす影響をどのように認識されているか。

A 村長

①本事業は6月8日に契約した。その後村民から遊具等について意見をいただいた。

②業者による地盤調査の結果、軟弱地盤があり、対応を検討している。

③事業費については変更はないと考えている。





▲着工された海浜公園第2期工事

さい！福祉センター よりどころ



村のデイサービスセンターとトレーニングルームが民間委託となり、村社会福祉協議会も事業の転換がはかられています。

福祉センターでの今後の事業について聞いてみました。

Ⅰ 社会福祉事業

■地域の支え合い
・支え合い訪問やマップ作りなど

■子育て・障がい・交流
・手話サークルや子育てサークルの支援など

■暮らしの困りごとを支える
・生活福祉資金貸付
・えんくるり事業
（お金などの相談もできます）
・日常生活自立支援
・法人後見（今年度から）

■あいあいサービス
・話し相手、ごみ捨てなど、日常生活での困りごとなど介護保険を補う「社協独自のサービス」

■ボランティアセンター運営
・ボランティアフェスティバルなど

Ⅱ 公益事業（☆は村からの受託事業）

■地域支え合いサポート拠点
☆買い物支援＋食事会／☆地域カルテ作り／☆自治会サロン支援／☆引きこもり支援／☆放課後学習支援／☆孤独・孤立支援

社会福祉協議会とは

村民の会費で運営される、住民主体・非営利の民間組織です。

社会福祉法第109条に基づき、地域福祉の推進を図る団体として規定されています。

社協の収入源は、村民の皆さんの会費・寄付金のほか、村からの事業の委託費や運営費の補助などです。

社会福祉協議会の大きな収入源となっていたデイサービスの委託事業は、介護保険制度の見直しもあり、収益が上がらなくなっていました。さらに感染症の流行もあり、利用者減などの理由で、昨年４月で終了しました（同年10月より㈱ライオンハートの指定管理になっています）。



☆つながりサロン「りん・くる」
高齢者・障がい者・子ども、だれでも来て良い、みんなの居場所です。





子育てサークル「ひまわり」代表
仲田 清香 さん

実家も遠く祖父母となかなか会えないので、交流できてうれしかったです。世代を超えて触れ合えて、楽しかったです。
またこういう機会があればいいな、と思います。

追跡 来てみてください 村民みんなの



■一般介護予防・地域づくり

☆まくれんカラダ体操
各公民館週1回

☆フレイル予防教室　毎週月

☆脳活運動教室　毎週水
身体を使いながら、同時に頭を使った課題を行い、心身の機能を効率的に上げていきます。



利用者の声

・ゲームも楽しいし、みんなとワイワイしながらするのも楽しい。
・一日の中に教室に行く時間があるのが、とても良い。
・ここに来て、皆さんとおしゃべりするのが楽しい。

☆姿勢すっきり教室



■生活困窮者支援

☆自立相談支援／☆家計改善支援／☆司法書士相談

職員から

・社協でこんなことをしているということを広報していきたいです。
・まくれんカラダ体操などで人の集まるところを作っていきます。
・各公民館にも出かけて行って、相談をしてもらえるような、人間関係を作っていきたいと思います。



▲後列左より古川さん、棚田さん、福井さん、山田さん
前列左より松田会長、山根さん、藤原さん

村民の福祉の拠点である社会福祉協議会の現状について、調査しました。皆さんが本当に楽しそうにお話をしながら、活動しておられるのが印象的でした。

議会のうごき

鳥取県町村議会女性議員研修会

とき　7月29日（水）
ところ　国民宿舎水明荘（湯梨浜町）

講義①鳥取県の不登校の現状と不登校支援
講師　県教育委員会生徒支援・教育相談センター
指導主事　西村　学氏

講義②フリースクールについて
講師　同センター
指導主事　山口　功氏

講義③議会が行う決算審議について～成果起点から行う実践的な審査・審議～
講師　一般社団法人　地方公共団体政策支援機構
研究員　渡辺　大樹氏



西部町村議会議員研修会

とき　8月18日（火）
ところ　鬼の館（伯耆町）

○演題
「大規模建物火災における消防活動～ファロスファーム株式会社西伯農場火災から～」
▽講師　西部広域行政管理組合米子消防署
副署長
田中　宏憲（ひろかず）氏

○**自治功労者の表彰**
河中博子議員は、議員在職11年間の地方自治・議会活動により、西部町村議長会より表彰されました。



村民の皆さんの声を聞かせてください
ぎかい懇談会へお越しを

各公民館へ3名程度の議員が伺います。おおむね90分間を予定しています。

日時	自治会（公民館）
11月7日午後7時	樽屋
11月8日午前10時	日吉津上1
〃　午後2時	日吉津上2
11月21日午前9時	富吉
11月22日午前10時30分	海川
調整中	今吉
調整中	日吉津下

【表紙】つながりサロン　りん・くる（福祉センター）



堀江栞織（ほりえしおり）さん、中西準子（なかにしじゅんこ）さん

9月16日（水）は、子育てサークル「ひまわり」との交流会でした。一緒にゲームをしたりして世代を越えて触れ合いました。

編集後記

議会ひえづの編集作業は、私にとっては議会終了後の復習の場になっています。この度の決算審査でこども園事業の子ども現に疑問を感じました。「どんな人材を育てたいのか？」「子どもたちのそれぞれの育ちを支援するものではないか」など、考えさせられました。子どもの育ちに何が必要なのか、改めて保育現場の方々と話し合ってみたい、との思いを強くした9月議会でした。

―江田　記―

次回の定例会は12月です



【議会広報広聴常任委員会】
石原　浩明・斉田　光門
橋井　満義・江田　加代
前田　昇

議会ひえづ No.188　令和8年11月1日発行
発行／鳥取県日吉津村議会　編集／広報広聴常任委員会
電話　0859-27-5957 FAX 0859-27-0903
印刷／今井印刷株式会社

議会ひえづがご覧になれます